



平成 28 年度から新庁舎の運用を開始しました。

田辺市では、災害から市民の生命や身体、財産を守るとともに、被害の軽減を図るため、「田辺市地域防災計画」に基づき、災害予防、災害応急対策、災害復旧など総合的かつ計画的な防災行政に取り組んでいます。近年では社会環境の変化、局地的な豪雨や台風の大規模化などの自然環境の変化も相まって、災害自体が複雑多様化するとともに、近い将来に発生が危惧されている南海トラフ地震とそれに伴う津波災害は、当地方に甚大な被害をもたらすと予想されています。

# 市民の命を守るために 災害に強いまちづくりを推進

こうした中、自助・共助・公助のそれぞれにおいて災害への対応力を高めるため、防災学習会を開催するなど、市民の防災意識を高める啓発活動のほか、自主防災組織による自主的な防災活動の活性化や消防団を中核とした地域の防災力の充実強化を図るとともに、あらゆる災害に対する脆弱性を克服する強靱な地域づくりに取り組むなど、災害に強いまちづくりを推進しています。

また、市民の安全・安心の確保のためには、なお一層の常備消防力の充実強化が必要であり、平成28年度から運用を開始した新消防庁舎は、巨大地震に備え免震構造としたほか、自家用給油取扱所、街区訓練施設及び雨水地下貯水槽などの最新の機能を備えており、市民の安全・安心を守る中核拠点として整備されました。



消防団女性団員は、火災予防の広報活動や防火啓発活動、住宅防火診断、応急手当普及啓発などを主体に活動しています。



熊野本宮大社で消防本部と自主防災組織が、合同訓練を実施しました。



毎年1月5日の出初式は、消防本部と消防団合同で行っています。

In an effort to protect its citizens' lives and assets, and reduce damage from disasters, Tanabe City is engaged in comprehensive and systematic disaster preventions, emergency responses, and restoration programs. Additionally, the city is taking steps to enhance cooperation between resident associations and volunteer disaster prevention organizations to create a city of individuals capable in handling disasters.

## 万が一に備えて

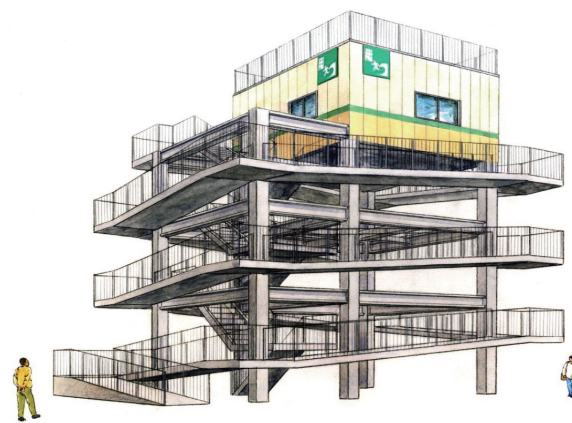
津波浸水ハザードマップ（津波浸水予測図）を基に、災害発生時にできるだけ高い場所へ避難するという意識の徹底を図るとともに、避難路の整備や津波避難ビルなど一時避難場所の選定、海抜表示板や夜間避難のための誘導灯の整備など、安全かつスムーズに避難するための取組を進めています。

また、自治会や自主防災組織をはじめ、学校や保育所・幼稚園も専門家の指導の下、積極的に避難訓練を重ねています。



保育園児、幼稚園児も災害時の避難訓練に取り組んでいます。

Schools, kindergartens and day care centers perform disaster drills under the direction of professionals.



津波避難施設イメージ図

南海トラフ巨大地震の津波浸水想定に基づく津波避難困難地域を解消するため、津波避難施設の整備などに取り組みます。

